

# 会 議 録

会 議	平成27年度 第1回 尾花沢市庁舎建設検討委員会
会議日時	平成27年4月23日（木）午後6時30分～午後9時00分
会議場所	尾花沢市学習情報センター「悠美館」2階ハイビジョンホール
出欠委員 及びアドバイザー	出席委員 12名 欠席委員 1名 アドバイザー 2名
事務局	尾花沢市役所 財政課職員 4名

## 会 議 概 要

（1）正副委員長の選任について

尾花沢市庁舎建設検討委員会設置要綱第5条第2項の規定により、委員長に笹原 光政 委員、副委員長に折原 敬一 委員を選出。

（2）庁舎建設検討委員会の会議の傍聴要領（案）について

○事務局

会議の傍聴要領（案）について資料により説明。

○委員

公開基準についてであるが、情報公開条例の内容を示すなどもう少し丁寧な説明をしてもらいたい。

○事務局

公開基準で示した本市の情報公開条例で非公開とする事項については、後ほど資料を配布し説明する。

○委員

民間人を主体に構成する検討委員会に傍聴制度を設けることが相応しいのか疑問を感じる。庁舎建設を進める自治体でもこのような流れにあるのか。

○事務局

庁舎建設を進める他の自治体でも会議を公開しているところが多い。市民と一体となって庁舎建設を進めていくという意味で、そのような流れにあるかと思う。

○委員

これまでも当委員会の会議経過や会議資料についてはホームページで開示しているが、会議自体を公開するとなれば、各委員は発言しにくくなるのではないか。

○事務局

会議を公開しても各委員それぞれの立場からこれまで同様に意見を頂戴したいと考えている。当委員会は、あくまでも意見を交換する場であり設計そのものを決定する場ではない。また、建築技術といった専門的な見地から検討する必要があるものについては、当委員会とは別に設計技術検証委員会を立ち上げ進めていきたいと考えている。

○委員

少しずつ市民の反応は高まってきている。良い庁舎づくりを進めていくためには、色んな方の意見が大切になってくる。当委員会だけで設計を決めるわけではないと考えている。事務局は、各委員が意見を出しやすい環境となるよう配慮願いたい。

○委員長

各委員から意見がありましたが、会議の傍聴について事務局案のとおり決してよろしいでしょうか。

(異議無しの声)

○委員長

事務局は各委員の意見に十分留意され、次回の会議から傍聴できるよう準備願いたい。

(3) 新庁舎建設基本設計の進め方について

○事務局

基本設計の進め方について資料により説明。

○委員

委員会の日程調整を早めをお願いしたい。

○事務局

そのように対応する。

(4) 建物の配置、階構成とゾーニングについて

○設計事務所

作成した2案について資料により説明。

○委員

屋根がフラットということであるが、雪対策についてはどう考えているのか。また、建物配置についてであるが、建設予定地の東側駐車場は信号機がない十字路に挟まれ、特に冬期間は県道沿いに雪山が出て見通しが悪い状況となる。そう考えると北側に駐車スペースを配置しない方がいいかと思う。

○設計事務所

屋根はフラットにして、250cm程度の積雪加重に耐えられるようにしたい。また、屋根の外周に無散水消雪を施し雪庇による落雪の事故を防止したいと考えている。また、利用者の交通上の動線については、安全性が確保されるよう今後とも検討していきたい。

○委員

庁舎のメインエントランスが南側であるが、県道に背を向けておりスペースを有効活用していない感じがする。

○設計事務所

メインエントランスの配置については、庁内の検討部会でも同様の指摘があったが、冬期間の北西からの雪風を考慮して、南側に正面玄関を配置した。

○委員

雪の関係で、積雪加重の説明があったが、実際にそれぐらい積もっても大丈夫なのか確認したい。また、貯雪室の規模と、位置的に道路を挟んで配置しているが、機能上支障ないのか伺いたい。

○設計事務所

積雪加重は、建築基準法で定められた構造計算上の設計荷重であり、250cm以下でも雪の密度が高く重い場合がある。状況に応じて除雪することも必要になってこようかと思う。また、貯雪室については、庁舎全体の2割程度の冷房容量を想定している。方式は送風方式ではなく、融雪水による熱交換方式を想定している。まずは、提案の段階であり、ご意見を頂戴しながら再考していきたい。

○委員

建屋の高さはどの程度想定しているのか。

○設計事務所

1階については4m50cm、2階は4m、3階は4m50cmぐらいになるのではないと思うが、構造方式が決まっていないので、今後精査していく。

○委員

雪庇対策であるが、利用者の安全性確保に努めてもらいたい。また、長方形のプランであるが、相談室が足りないと感じた。現状を見ると、職員机の脇で相談を受けているケースを見受ける。その点を考慮願いたい。議会機能についてであるが、将来を見据えて柔軟に対応できるようにしてもらいたい。その点は議会とも意見交換を図る必要があるかと思う。

○設計事務所

雪庇対策であるが、建築面からだけでなく、雪対策に有効な設備方式についても検討していかなければならないと思う。イニシャルやランニングコストも含めて詳細に検討していく。また、相談スペースや議会機能については、現状を分析して意見交換を図りながら進めていく。

○委員

モール型プランであるが、思いやり駐車場からの動線を考えると、エレベーターが入口の反対側にあり身障者や高齢者の利便性に疑問を感じる。また、両案に共通するが、授乳・キッズスペースがトイレと離れており使い勝手に疑問を感じる。

○設計事務所

長方形のプランでは、メインエントランス側にエレベーターを配置したところであるが、身障者や高齢者の利便性が確保されるよう位置を分散して配置することも検討したい。また、授乳・キッズスペースについては引き続き検討したい。

○委員

エレベーターの規模はどの程度想定しているのか。

○設計事務所

身障者やストレッチャーも使用できるようゆとりのあるものを考えている。

○委員

昨年、委員会で視察した湯沢市役所では会議室の一部を市民に開放していたが、庁舎建設基本計画でもそうした点を盛り込んだところである。この案ではどの部分になるのか。

○事務局

湯沢市役所では2階フロアに小会議室を配置して市民開放エリアとしていたが、現行案では2階の中会議室、3階のまとまった会議室エリアを想定している。利用者の動線を考えれば2階に会議室を集約した方が移動負担は少ないが、市民の利便性を考えた場合、庁舎機能をできる限り低層階に配置したいために会議室関係は3階になる。

○委員

研修棟が耐震不足で使用できない状況であり、そういった意味で新庁舎に市民団体などが利用できる開放エリアを配置する計画があることをもっと説明した方がいいのではないかと。単に庁舎を建て替えるだけでなく、市民開放スペースなど複合的な機能も取り入れた庁舎にしていくことをきちんと説明しないと会議スペースが広いのではないかと受け止められてしまう。

○委員

委員から出されている意見は、今後どのように取り扱われるのか。

○事務局

各委員からの意見を踏まえ、ゾーニングを修正し次回の検討委員会へ示したい。庁内でも検討部に市民サービス班など3班に分けて、各担当分野で検討しており、そうした意見も反映させていきたいと考えている。また、議会に対してもゾーニング案を示して意見を頂戴しながら進めていきたいと考えている。

○委員

トイレ脇に湯沸室があるのは衛生上どうなのか。

○設計事務所

水回りを分散させると効率的でない。その点は衛生上問題のないようにしたい。

○委員

防災倉庫についてであるが、案では2階フロアに配置されているが、災害時を考えると1階にあった方が機動性を確保できるのではないかと。

○事務局

庁舎については、地域防災計画のなかで防災センター機能を具備するとしており、その点から防災倉庫を配置する計画となる。また、国からの防災関係の財政支援を考えた場合、機能がまとまっている方がいいとの指導も受けている。その点から災害対策本部や防災行政無線室など同一のフロアに集約したところである。

○委員

売店の面積が狭いように感じる。その点も配慮願いたい。

○設計事務所

委員ご指摘の部分については再度検討する。

○委員

売店を利用した市民が食事できるようなスペースはあるのか。

○事務局

相談スペースを開放したり、市民ホールの一部にランチスペースを設けるなど利用しやすい環境を検討していきたい。

○委員

以前、現庁舎と東側駐車場の間の市道を廃止してはどうかとの意見があったかと思うが、その点はどうか。

○事務局

都市計画整備区域内にあり、もし廃止するとなれば県と手続き的なやりとりも出てこようかと思う。その点は、引き続き検討してまいりたい。

○アドバイザー

設計事務所から2案示されたわけだが、当委員会で検討する段階では1案に絞って進めていった方がスムーズかと思う。また、利用者の動線が資料では分かりにくい。庁舎のなかで利用者がどう流れるのか分かるように整理してもらいたい。

○設計事務所

雪対策の兼ね合いから2案を示したが、皆様からご意見をいただきながら今後は1案に集約していきたい。また、市民の動線についても図示していきたい。

○アドバイザー

1階の階高が4m50cm程度とのことであるが、天井高はもっと低くなるかと思う。空間的に圧迫感がないようにする工夫が求められる。また、長方形のプランであるが、市民ホールが横長で、廊下としての機能だけになってしまわないかと思う。また、北側にドライエリアを配置しているが、雪国では厳しいのではないかと思う。雪冷房に関しては、尾花沢市独特の雪質なども考慮して検討してもらいたい。

○設計事務所

空間計画については、閉塞的にならないよう検討していきたい。市民ホールの配置については再度検討したい。また、ドライエリアについては雪が入らないよう工夫したい。雪冷房についても複数の事例を検討しながら本市に合った方法を検討したい。

○委員長

今回は2案示されているが、今後どの段階で1案に絞っていくのか。

○事務局

検討部会でも委員会と同様に2案について検討を進めている。今後は、今日の意見を踏まえ、さらに検討部会の各作業班で意見を整理し、議会の意見も頂戴しながら1案に絞っていきたいと考えている。次回の検討委員会では、1案を提示できればと思う。

以 上